大仙市立中仙小学校学校報　令和５年度 NO.２６　令和５年１０月１７日

夢に向かって　笑顔いっぱい　みんなでチャレンジ

輝く ひとみ

晴れてよかったあ～！

“楽らく 笑SHOW”な学校　　なか１０００笑楽校

後期のスタートに　最高の楽笑な行事　大盛り上がり！

昨年からスタートした、ウォークラリーと斉内川での「なべっこ」、そして今年始めた収穫感謝祭が、晴天の下で楽しく笑顔満開でできました。長野地域のたくさんの見学箇所のご協力や、本当に多くの保護者の皆様の「おにぎりボランティア」のご参加のおかげで、子どもたちにとって忘れられない思い出ができました。

ウォークラリー

全部のグループが三つの見学箇所から好きなところを選んで、詳しく施設の説明をしてもらいました。

【秀よし】

創業３３４年！本当に歴史を感じる倉の中に入って、お酒を造る上で、長野の豊かな水やお米の大切さを教えていただきました。お酒を造る順番や、大きな樽に貯蔵している様子を見学しながらも、「お酒くさいっ」と言う子どもたちもいました。

また、織田信長伝来の鎧や日本刀、多くの金ぴかな装飾品に見とれる子どもたちもたくさんいました。

子どもたちよりも、私にとって、ものすごく勉強になりました。今度はＰＴＡとして、大人の見学会でも企画したいなぁと強く思いました。

【大仙創農】

道の駅横にある「トマト工場」を見学させてもらいました。当日は、責任者である〇〇さん（私の幼・小・中の同級生）が、直接子どもたちに工場の案内をしてくれました。

工場内には衛生管理上立ち入ることはできませんが、外からでもわかるようにと、機械を見つけるクイズを準備してくれて、楽しく見学ができました。

『毎日がトマト曜日』というキャッチフレーズが、有名です。３年生が見学した清水にあるメガハウスのトマトが、この工場でジュースやドレッシングなどになることがよくわかりました。つながりました。

【ＪＡ秋田おばこ 大仙市東部営農センター 集出荷場】

中仙地域で収穫した野菜やお米が集まる施設を見学させてもらいました。

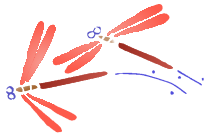
この日も、たくさんのお米が次から次へとトラックで運ばれてきて、駐車場を移動するのも大変でした。

そして、課長である〇〇さんがお米を保管してある倉庫の中を案内してくださいました。ここから大曲等に運ばれ、東京等へと輸送されていくそうです。

中仙の宝の一つでもある『お米』の動きに直接触れることができました。田植え、稲刈りから輸送されて全国の皆さんの食卓へとつながっていくはじめの一歩を教えていただきました。

チェックポイント

お寺や駅、ワイワイらんどなどのチェックポイントでは、ミッションに挑戦しながら、ゴールの道の駅を目指しました。

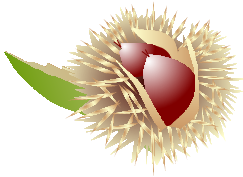


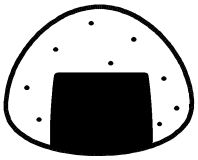
なべっこ&収穫感謝祭

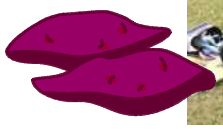
５年生とボランティアの皆さんが、１８０人分ものおにぎりを速攻で作ってくれました。ご飯炊きから、にぎるところまで、本当にありがとうございました。

（最後の集合写真しかなくてごめんなさい）

川原では、お米作りにご協力いただいた〇〇さんご夫妻や八乙女山を守る会の方々、「長野ささら」でご指導いただいている方々にもご参加いただき、おにぎりボランティアのみなさんと一緒に、感謝の豚汁とおにぎりを食べていただきました。







最後は、ふるさとの清流で　たてわり遊び！　水遊び
終わった直後の　クマ出没には『！』と『ほっ』でした。